

自治会バス「ベレッサ号」



福岡県 小郡市

のぞみ小校区協働のまちづくり協議会・自治会バス部会

☆福岡県小郡市の概況



- 福岡県の中央西部に位置する市域で総面積 4,551ha
- 人口 59,368人、世帯数 24,126世帯
- 65歳以上人口 15,721人、高齢化率 26.5%
- 基幹産業は農業、東側には田園地帯が広がる (数値は平成30年4月1日現在)

☆のぞみが丘校区の概況



- 小郡市の最北部に位置する小学校区
- 平成6年以降に宅地開発された大型新興住宅地域
- 戸建住宅の分譲地が中心で、市外から転入してきた現役世代の核家族が比較的多い地域
- 人口 9,472人、世帯数 3,038世帯、高齢化率 7.9%
- 2つの大きな自治会で構成

(数値は平成30年4月1日現在)

☆自治会バス「ベレッサ号」とは？

**小郡市とのぞみ小校区の自治会が
共同で運行している地域の「自治会バス」です**

この自治会バス「ベレッサ号」は、平成21年9月に地域の民間路線バスが廃止になったことを受け、地域の力で住民の買い物や通院など日常生活での交通手段を確保しようと、平成23年4月に運行が始まりました。



自治会バス「ベレッサ号(初代)」



自治会バス「ベレッサ号(二代目)」

☆自分たちのまちは自分たちで守る

平成23年4月からスタートした自治会バス「ベレッサ号」の運行は早7年が経過し、現在まで、延べ46,862人、1日平均27.3人（平成30年3月末現在）の地域の皆様にご利用をいただいています。

平成26年5月には、小郡市から10人乗りの新型車両（日産キャラバン）の貸与を受けるとともに、平成26年10月からは、運行日数を週4日から週6日に拡充するなど、事業内容も年々充実しています。

この自治会バス「ベレッサ号」は、高齢になって車が運転できなくなっても、日常生活に必要な病院への通院や買い物などが不自由なくできるように、交通弱者といわれる方々の日常生活上の移動手段を確保するために実現したものです。

そして、その運行は「地域住民の手作りのバス」として、自治会やボランティア運転手など地域住民の協力によって支えられています。



☆自治会バス事業の概要

- (1) 事業主体 小郡市
のぞみ小校区協働のまちづくり協議会・自治会バス部会
- (2) 利用料金 無料
- (3) 運行日 週6日（月～土曜日）
美鈴が丘ルート（毎週月、水、金曜日）
希みが丘ルート（毎週火、木、土曜日）
- (4) 運行時間 9：00～13：00 1日4便
- (5) 乗降方式 指定場所での乗降と手上げ方式のフリー乗降
- (6) 運転手 地域のボランティアの皆さん
- (7) 運行車両 ニッサンキャラバン（小郡市から無償貸与）
- (8) 運行経費 小郡市からの補助金と自治会からの助成金による運行

☆運行ルート（2ルート）

【美鈴が丘ルート】

美鈴が丘循環バス時刻表（月・水・金曜日）

① ベレッサ	9:00	10:00	11:00	12:00
② 小林歯科前	9:03	10:03	11:03	12:03
③ 希み6丁目	9:04	10:04	11:04	12:04
④ 美鈴4丁目	9:07	10:07	11:07	12:07
⑤ 美鈴3丁目	9:08	10:08	11:08	12:08
⑥ 中野歯科前	9:10	10:10	11:10	12:10
⑦ 美鈴公民館前	9:11	10:11	11:11	12:11
⑧ 志恩病院前	9:12	10:12	11:12	12:12
⑨ レガネット前	9:15	10:15	11:15	12:15
⑩ 三国が丘駅	9:17	10:17	11:17	12:17
⑪ レガネット前	9:19	10:19	11:19	12:19
⑫ 志恩病院前	9:21	10:21	11:21	12:21
⑬ 美鈴公民館前	9:22	10:22	11:22	12:22
⑭ 中野歯科前	9:23	10:23	11:23	12:23
⑮ 美鈴3丁目	9:25	10:25	11:25	12:25
⑯ 美鈴4丁目	9:26	10:26	11:26	12:26
⑰ 希み6丁目	9:29	10:29	11:29	12:29
⑱ 小林歯科前	9:30	10:30	11:30	12:30
⑲ ベレッサ	9:33	10:33	11:33	12:33
⑳ JR原田駅	9:37	10:37	11:37	12:37
㉑ 福銀前	9:38	10:38	11:38	12:38
㉒ 郵便局前	9:39	10:39	11:39	12:39
㉓ ベレッサ	9:43	10:43	11:43	—

美鈴が丘ルート

バスルート図&時刻表（月・水・金曜日）

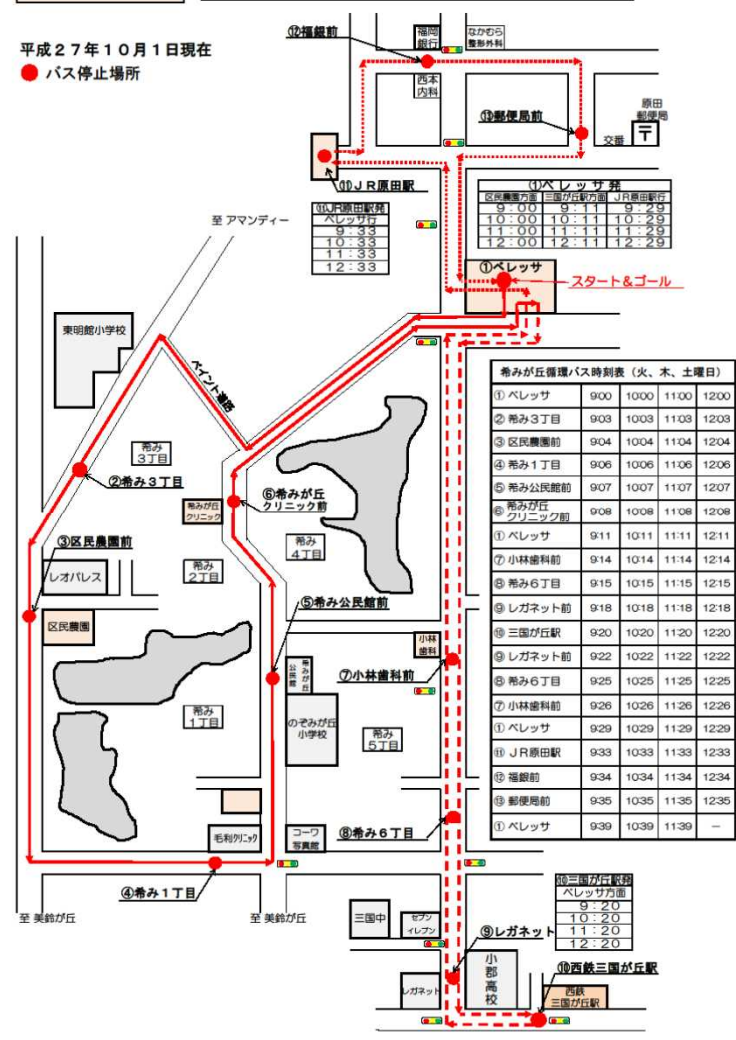


● バス停止場所
平成28年10月1日～

【希みが丘ルート】

希みが丘ルート バスルート図&時刻表（火・木・土曜日）

平成27年10月1日現在
● バス停止場所



☆利用実績（平成23年4月～平成30年3月）

	希みが丘ルート			美鈴が丘ルート			合計		
	運行日数 （日）	利用者数 （人）	1日平均 （人）	運行日数 （日）	利用者数 （人）	1日平均 （人）	運行日数 （日）	利用者数 （人）	1日平均 （人）
23年度	103	2,288	22.2	104	1,739	16.7	207	4,027	19.5
24年度	100	2,547	25.5	101	2,280	22.6	201	4,827	24.0
25年度	99	2,648	26.7	99	2,463	24.9	198	5,111	25.8
26年度	122	3,484	28.6	120	3,158	26.3	242	6,642	27.4
27年度	145	4,247	29.3	142	4,101	28.9	287	8,348	29.1
28年度	146	4,994	34.2	143	4,272	29.9	289	9,266	32.1
29年度	148	4,971	33.6	142	3,670	25.8	290	8,641	29.8
合計	863	25,179	29.2	851	21,683	25.5	1,714	46,862	27.3

☆自治会バス部会の活動

「のぞみ小校区協働のまちづくり協議会 自治会バス部会」

- ・ 会長、副会長、部会長（会計）、事務局長、監査、相談役、ボランティア運転手の皆さん
- ・ 月1回会議を開催し、自治会バスの運行に関する課題や運転日程の調整等について、定期的に協議を行っています。



【定例会の様子】

地域住民が利用しやすい自治会バスの運行に向けて、毎回、熱心な議論が行われています。



【平成26年6月28日自治会バスお披露目会】

小郡市からまち協へ、新しい自治会バスの引き渡し式が行われました。

☆自治会バス運行5周年記念事業

利用者との意見交換会 (平成28年5月15日)



★利用者の皆さんの声

- 自治会バスのおかげで、不自由になった身体だったが、寝たきりにならなくてすみました。心から感謝しています。
- この辺りは坂が多いので、バス停まで歩くのはとても大変。おかげで、家族が不在のときでも買い物など外に出かけることができ、とても助かっています。
- 自治会バスは住民の寄り合いの場になっています。バスを利用するようになって乗客同士で会話が生まれ、お友達の輪が広がりました。
- 運転手さんは地域の方なので、困りごとや悩みの相談にのっていてくださいます。いろいろなアドバイスをいただき助かっています。

★ボランティア運転手の感想

- 自治会バスの運転の時間は、私にとって地域の方々と触れ合う大切な時間だ。
- ある方が「このバスのおかげで寝たきりにならなくてすんだ。」と言われた。また、ある方は、杖をつきながら友人に会いに行かれる。利用者の皆さんは助け合われる。行きたい時に行きたい所へ、自分の力で行けることの大切さをあらためて知った。
- 自分の通院やご家族の介護に効率よくバスを利用される。本当に頑張っておられる。病気の話も伺う。みんな前向きだ。すごい！これから先の自分は、先輩方のように考え、生活していけるだろうか？
- 利用者の皆さんから「助かります」「ありがとう」と言われることが本当に励みになる。やって良かったと思える瞬間である。
- でも、実はこちらの方が先輩方から多くの勇気と元気をいただいている。体力の続く限り運転したいと思う。
- 気軽に話し合える運転手の仲間とも、地域で手を振って挨拶できることがとても嬉しい。

自治会バスのあゆみ報告会 (平成28年8月21日)



【自治会バスのあゆみ報告会】

- ・のぞみ小校区「ベレッサ号」のあゆみ
- ・御原小校区「みはら号」の取り組み
- ・パネルディスカッション「自治会バスとまちづくり」



【自治会バス「みはら号」】

小郡市で2例目として運行が開始された御原小校区の自治会バス「みはら号」と利用者。



☆協働のまちづくりの取り組み

自治会バス「ベレッサ号」の運行 (のぞみ小校区協働のまちづくり協議会)

車両の貸与
燃料費等の負担

小 郡 市
(公的支援)

車両を寄付



共助

協働

公助

自助

自治会から助成金
ボランティア運転手の協力

地域住民

買い物で利用促進



民間事業者の協力
(筑紫野ベレッサ)

☆自治会バス事業の成果

1. 地域の公共交通・住民の移動手段の確保

- 買い物弱者の支援として、自治会バスを利用されている住民の皆さんから、感謝の声をいただいています。

2. 地域住民のネットワーク(つながり)づくり

- 自治会バスの利用者やボランティア運転手など、地域住民の交流が増え、住民相互のつながりが広がっています。

3・地域の自治力(まちづくり)の向上

- 「自分たちのまちは自分たちでつくる」というまちづくりへの意識が強くなっています。